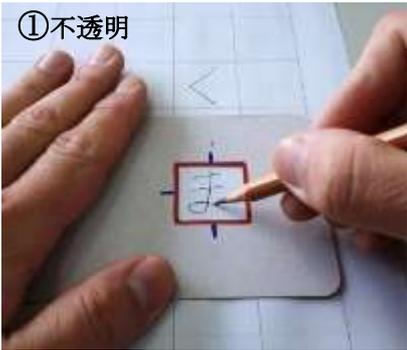
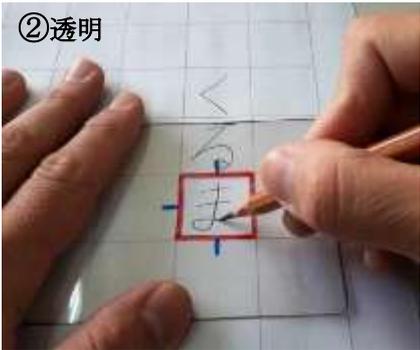


大項目	書くこと
小項目	文字の形
タイトル (教材名)	枠を意識する
目的 身につけてほしい力	書く範囲を意識しながら、枠内に文字を書く練習を繰り返す。
教材の概要  材料 作り方 工夫点など  画像	 <p>習熟度に合わせて2種類の台紙を用意するとより良い。</p> <p>①不透明のもの：1字1字に集中して書く用。</p> <p>②透明のもの：前後の文字も意識しながら書く用。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>①不透明</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>②透明</p>  </div> </div>
教材の使用方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マス目のふちに鉛筆の先・ペン先が当たり、マス目からはみ出すことなく書き進めることができる。</li> <li>・マスの大きさは大きいものから始めて、段階を追って徐々に小さいものに変えて練習していく。</li> <li>・マスのふちを色で強調し、書く範囲を意識付ける効果も狙う。</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市販のマス目のノートの大きさにくり抜いた枠の台紙を用意する。素材をラミネートやプラ板にすると、マス目からはみ出して書き進めることを防ぎやすくなり、また耐久性も上がる。</li> <li>・台紙は書く際にマスが動かないよう、手で押さえることができる余裕も取り作成する。 台紙を押さえることにより、手を添えて書くことにもつながる。</li> </ul>